

ひとつづくり2030

～ SDGs達成に向けた人材育成について
学び・考え・行動する～

2018.03.04

ESDによる学校での「ひとつづくり」

～ 伊豆市立天城中学校の実践事例から～



持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J) 理事

静岡大学ESDコンソーシアムコーディネーター

元伊豆市立天城中学校 校長 大塚 明



学校の概要

平成20年(2008年)当時

- ・生徒数 138名(合計6クラス)
- ・学級数 1年2クラス 2年2クラス 3年2クラス
- ・教職員数13名(24) ・3小学校を有する小規模校

校訓 克己

伝 統
克己坂挨拶

合 唱



生徒の実態

平成20年(2008年)当時

- ・明るく素直な生徒が多い
- ・(克己坂)挨拶がよくできる
- ・比較的落ち着いた生活態度
- ・素直に注意が聞ける
- ・行事を通して絆を深めてきた

- ・自分に自信が持てない
- ・言葉遣いが悪く
不用意な発言をする
- ・授業態度が受け身である
- ・家庭学習が不足している
- ・ネットや携帯の時間が多い



今までの経過

縦割り活動を中心にした人間関係づくり

学校行事・生徒会活動・生徒集会・縦割り清掃等

葵流祭(種目・応援・合唱)

清掃・集会・生徒会

リーダーシップ

フォロアーシップ

様々な感動場面

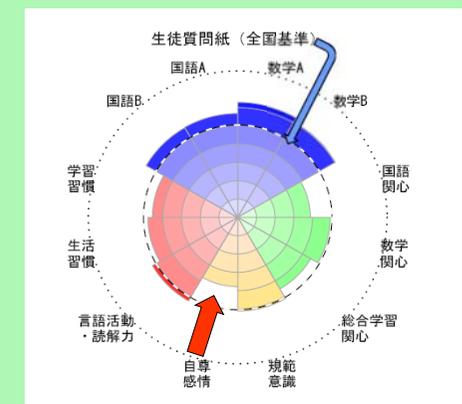
「やってよかった」 = 自己有用感



ESDを始めたきっかけ その1

平成21年度
全国学力・学習
状況調査結果

自尊感情が
特に低い!



本校の課題

平成20年(2008年) 当時

欠損家庭が多い

全校: **15.4%**

1年 17.3%

2年 15.5%

3年 13.2%

自尊心が低い

全国学力・学習状況調査の結果から、
全国平均を下回っている



自尊心の低さからくる課題

自尊心 自分はこの世でかけがえのない存在



自信 = 自分の可能性を信じる心



全ての**学び**・**意欲**・**夢**の原動力

もっと自分に**自信**を持ってほしい!



ESDを始めたきっかけ その2

ある授業の中で

将来住みたい所はどこ?

→ **9割以上**の生徒が **東京・横浜!**

どれだけ自分たちの住んでいる
地域の良さ(すばらしさ)を**自覚**しているのだろうか?

自分たちの

住んでいる地域に誇りをもっ
てほしい!



生徒の実態

天城に住んでいながら

地域のよさや**すばらしさ**を感じてない



地域の**自然**や**文化**・**歴史**の
すばらしさを**実感**させたい



現行学習指導要領

教育振興基本計画

平成24年度より完全実施

新学習指導要領に新たに記述

「持続可能な社会」という文言が
繰り返し書かれている



ESD (Education for Sustainable Development)

持続可能な開発のための教育

持続可能な社会の担い手を育てる教育



研究仮説

生徒の**自尊心**が向上 → **生きる力**

ESD



持続可能な社会の担い手を育てる教育

体験を通して地域の良さを知る

地域の人とつながる

地域に誇りをもつ

地域の課題から未来像を描く

自分たちにできることを考え・行動する



手だて ①

総合的な学習の時間を
ESDの視点で見直し組み直す

ポイント

- ① 地域での体験活動の重視
- ② 地域の人とのつながりの重視



手だて ②

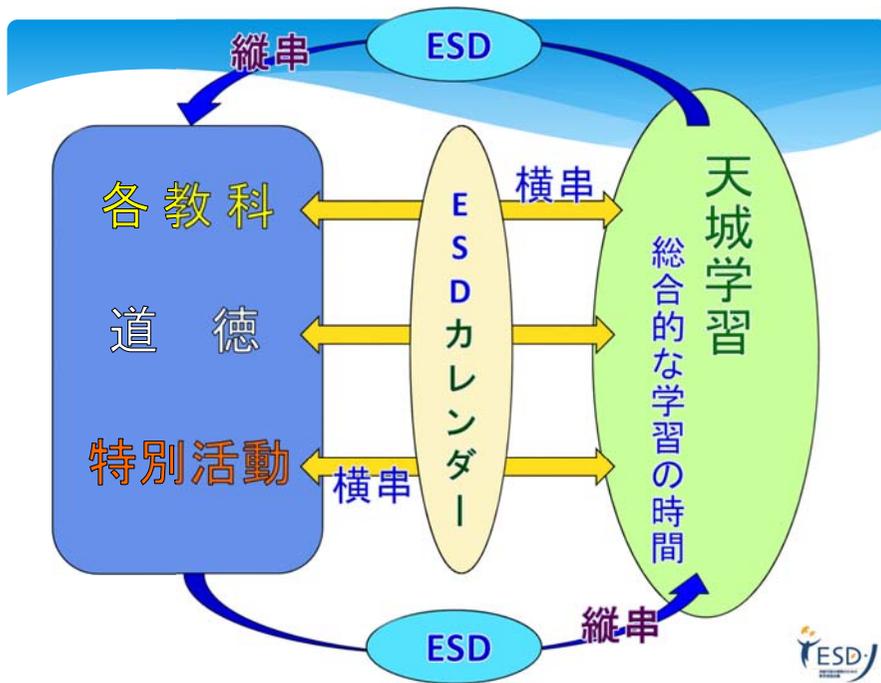
「持続可能な社会の担い手づくり」
という視点で教育活動全体を見直す

ポイント

各教科・道徳・特別活動との
横断的つながりの見直し

カリキュラム
マネージメント → ESDカレンダー





総合的な学習の時間『天城学習』年間指導計画

	第1学年	第2学年	第3学年
4月	福祉体験学習 準備	自然体験学習 準備	修学旅行 準備
5月	福祉体験学習	自然体験学習	修学旅行 (奈良・京都)
6月	福祉体験学習 まとめ 自然体験学習 準備	自然体験学習 まとめ 職業体験学習 準備	修学旅行 まとめ 地域学習 準備
7月			
8月			
9月			
10月	自然体験学習	職場体験学習	地域学習
11月	自然体験学習 まとめ 総合発表会 準備 (福祉・環境)	職場体験学習 まとめ 総合発表会 準備 (職業・環境)	地域学習 まとめ 総合発表会 準備 (市への提言)
12月			進路学習
1月			
2月	総合発表会	総合発表会	総合発表会 (市へ提言)

グローバルな視点 主に各教科で
Think Globally

地球規模で起きている課題の理解

地球温暖化 資源の枯渇
生物多様性の危機 戦争・紛争
食糧問題 飢餓・貧困 etc.

ローカルな視点 主に総合で
Act Locally

地域で起きている課題の理解し行動する

天城山のブナやマメ桜の枯損
鹿の食害 少子高齢化・過疎 etc.

グローバルな視点 ↓

世界と地域の課題のつながりの理解

目指すものは

21世紀を「生きる力」を身につける

ESD



自尊感情を高め

持続可能な社会の担い手を育てる教育

地域を「持続可能な社会」にしよう
体験と地域の人とのつながりから
学び・考え・行動する



総合的な学習の時間と地域のつながり

1年 福祉体験

福祉体験ガイダンス・福祉施設のオリエンテーション
車椅子体験・高齢者体験・アイマスク体験・認知症講座



グリーンズ修善寺 安寧の郷 駿豆学園
田方ゆめワーク 天城デイサービス



総合的な学習の時間と地域のつながり

1・2年 自然体験

天城自然
ガイドクラブ
登山ガイド
安全確保

林野庁
伊豆森林管理署
森林学習(事前学習)
鹿防護柵の器材準備
環境省への許可申請
登山の安全確保

NPO法人
天城子ども
ネットワーク
伊豆自然塾
ネイチャーゲーム
野外活動

有害鳥獣捕獲隊

イズシカ問屋



総合的な学習の時間と地域のつながり

2年 職場体験

すべて地元

旅館

落合楼村上
船原館 東府屋
たつた旅館
木太刀荘

商店

天城ストアー
伊豆の佐太郎
竹の子かあさんの店
大地讃頌(八百屋)
梅人の里
森島米店

事業所

天城デイサービス
伊豆森林管理署
天城ゴルフクラブ
天城わさびの里
昭和の森会館

農家
製造業
わさび農家
若木屋(豆腐製造)
天城ローズファーム
東京ラスク
堀江養鶏



天城を持続可能な地域とするために

3年 修学旅行 国際都市 京都・奈良に学ぼう

天城の産業興し

京都市役所
 ・環境政策局
 ・都市計画局
 ・産業観光局
 ・文化市民局
 ・建設局
 観光情報センター
 清水寺門前会
 景観まちづくりセンター

天城の人づくり

京都市体育協会
 景観まちづくりセンター
 龍安寺

天城の幸せづくり

清水寺社務所
 京エコロジーセンター
 下鴨神社
 平等院社務所
 ひと・まち交流館
 景観まちづくりセンター



天城を持続可能な地域とするために



3年 地域学習 Only One な地域づくり

天城の産業興し

伊豆市役所
 ・観光交流課
 ・農林水産課
 ・観光商工課
 ・環境衛生課
 伊豆市観光協会
 修善寺総合会館
 森嶋米店

天城の人づくり

伊豆森林管理署
 浄蓮の滝観光センター
 昭和の森会館
 天城ミュージアム
 木村屋製菓
 東府や
 天城会館
 慶友病院

天城の幸せづくり

明徳寺 大龍寺
 山葵農家 妙本字
 夕鶴記念館
 虹の郷
 落合楼村上
 東京ラスク
 天城湯ヶ島商工会
 中島病院



伊豆市に提言



3年生が提言を伊豆市長に!



実践を通しての生徒の変容

- 1 体験や調査活動を通して地域の課題に気づき、自分の考えを自信を持って発表できるようになった。
- 2 東日本大震災の直後、生徒会が立ち上がり学用品を集め支援物資を送った。
- 3 ESDを通して3年間学んだことで自分の将来の夢を見つけ、英語弁論大会でその思いを発表した生徒が県大会で入賞を果たした。
- 4 鹿の食害から天城の自然を守りたいという思いから、森林管理署と協働し「ツゲ峠鹿柵プロジェクト」が生まれた。
- 5 「ツゲ峠鹿柵プロジェクト」は今でも後輩に引き継がれ続けている。また、当時、鹿柵を作った生徒は卒業後も関心を持ち続けている。
- 6 卒業を迎える頃になると、多くの生徒は地域に誇りを持ち、自分のできごとで地域に貢献したいと考えるようになった。

東日本大震災の被災地への学用品支援に 生徒会が立ち上がり 全校生徒に呼びかけた！



2011.4.13 静岡新聞



4月15日(金)
東北大学と宮城教育大学を通じて
ユネスコスクールの仲間へ
送付しました ESD



県大会3位入賞
高円宮杯全日本英語弁論大会へ！



天城の自然を守りたい！

鹿の食害を防ぎたい

ブナを植林したい

マメ桜を守りたい

伊豆森林管理署に相談

国立公園内では、植林など人が自然に手を加える事は禁じられている！

鹿防護柵なら許可が取れる

森林管理署と協働して鹿柵を作ろう

つげ峠鹿柵プロジェクト





専門家に教わりながら
鹿の防護柵を組み立てました



つげ峠 鹿柵設置 完了!



静岡新聞 伊豆日日新聞 平成23年(2011年)10月20日 (木曜日) 日刊

食害による森林荒廃で設置
天城中生がシカ防
2ヶ所 延長50メートル

伊豆・天城中3年生
つげ峠は、特許可能地帯で、3年の
の植生助ける

活動が新聞に掲載されました

伊豆日日新聞
看板ネ

ESD

2011.4

2011.10

2012.10

2013.8

2013.8

2014.7

2016.7

2017.7

2017.7

ESD

〈 ESDに取り組んだ最大の成果 〉

生徒が**自信**を持ち、**主体的**に動くようになった

体験や調査を通して地域の**課題**に**気づき**、
天城学習発表会で自分たちの**考え**を
地域に向けて**発信**できるまでに成長

自分の**夢**や**将来像** ↑ へと結びつく

保護者や地域の方からの**賞賛**
市長からの**評価**
「市の職員として採用したい！」



第2回

ユネスコスクール全国大会

平成22年10月30日
宮城教育大学



第1回持続発展教育(ESD)大賞



生徒の**自尊感情**に**プラス**の影響



ESD実践後の自尊感情の変化

自尊感情の変化は？

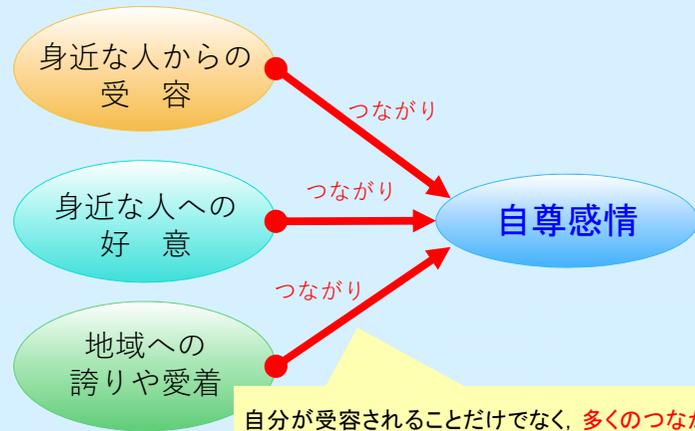
- ① 天城中の自尊感情得点は**他校より高い値**を示し**学年が進むと更に向上**した。
- ② 「**身近な人からの受容**」はどの学校でも自尊感情へ**有意な影響**を与えることが確認された。
- ③ 天城中は他校より「**地域への誇り**」や「**身近な人への好意**」から**自尊感情への影響**が確認された。
- ④ 「**地域への誇り**」と**自尊感情**はESDの実践における「**つながり**」の中で**生まれたと考えられる**。



ESDの概念を通じた実践により**人や地域とつながる**ことで**地域に誇り**をもち、**自尊感情を高め**たことが期待される。



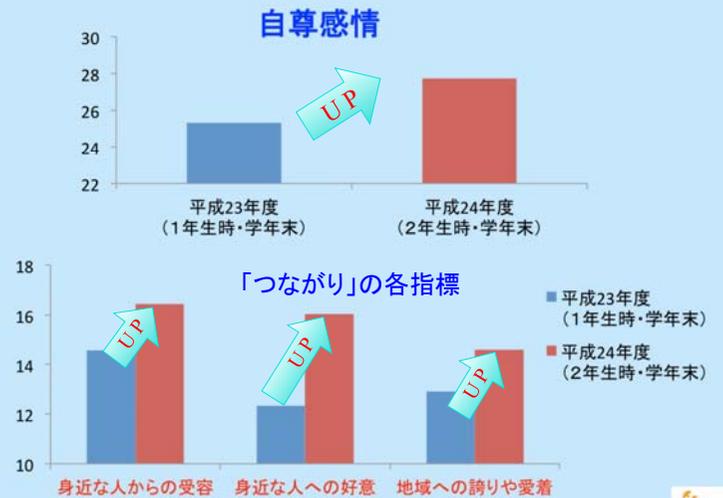
自尊感情を目的変数とし、「つながり」の各指標を説明変数とした学校別の重回帰分析より



自分が受容されることだけでなく、多くのつながりの中で、他者を信頼し、地域・社会を愛する心が天城中学校の生徒の自尊感情の基盤になったと考えられる。



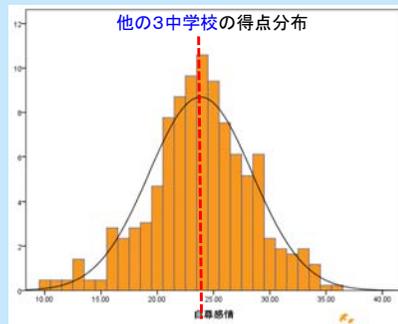
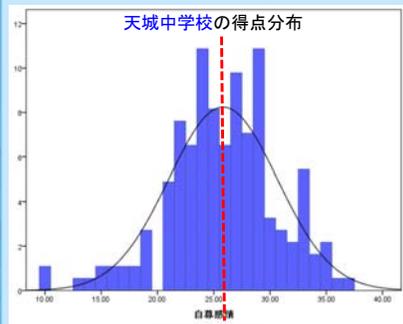
自尊感情と「つながり」に関する各指標の1年間の得点推移



自尊感情得点の他校との比較

	A中学校 (n = 185)	他の中学校 (3校平均: n = 438)	t値 (df=98)
自尊感情	25.83	23.85	-4.92***

*** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$, † $p < .10$



天城学習への理解に関する質問項目の1年間の得点推移

